

“牧野ヶ緑地公園ボランティアワーク” を取材しました！

「チーム名東」は、2009年4月25日（土）に前山小学校体育館で行われた“牧野ヶ緑地公園ボランティアワーク”を取材しました。取材者は椋山女学園大学教育学部2年生の大村理恵・恒川典子・森友紀です。



「チーム名東」タケノコ掘りの様子

この日はあいにくの雨。本当だったら子ども達と一緒に竹林に入り、竹を切り出すところから体験する予定でしたが、急遽、主催者と協力者のみなさんがあらかじめ切り出しておいてくださった大きな竹を使って食器作りをし、それを使って、タケノコご飯とタケノコ豚汁を食べる、という企画に変更になりました。

タケノコはとても頑丈なので、のこぎりで切り出す作業はかなり力がいらいます。参加した子ども達だけでなく保護者も夢中になってのこぎりを動かし、切り出した食器とお箸に丁寧に紙やすりをかけ、食器を完成させていました。参加した保護者の方も、「結構子どもより、私が楽しんじゃってます」「ちょっと子どもにいいところ見せられたかなと思ってます」などと感想を聞かせてくださり、終始笑顔。子ども達も「自分で作った食器で食べると、いつもよりおいしく感じる！」「竹を切るのはストレス発散（笑）」などと楽しんでいる様子でした。

主催者の方にお話を伺うと、「天気がよければ今日のイベントの出来栄は100点満点だったのに！」と天気を残念がっていらっしゃいました。続けて「このようなイベントをするにあたって、建設業の方たちが協力して下さるので、とても嬉しいです。このイベントは5、6年前から牧の原の一部の子ども会と前山小学校が毎年開いていて、子ども会に入っていない人でも参加できるものになっています。名東区は子ども会が少ないため、子ども会に入っていない人達を引き込むきっかけになればいい」とおっしゃっていました。町内会や自治会に入っていない人も多いため、お金を使わずに頭を使って、地域としてふれあえる場所を作ることが、今後の目標だそうです。

取材した私たちも、今までスーパーで売っている40cmほどの竹の子しか見たことがなかったので、自分の背丈よりも大きい竹の子を見たときには驚きました。会場には区政委員の方や子ども会のお母さん方、建設業、地域役員の方が大勢いらっしゃり、地域の方たちの協力があったからこそこのイベントであることを実感しました。また、シソの葉と梅干を竹の子の皮に包み、三角に折りたたんだものをおやつにして、幼少時に持ち歩いていた、というようなお話を聞くこともでき、とても勉強になりました！